

# メイタガレイとナガレメイタガレイの生態について

福島県水産試験場 水産資源部

部門名 水産業－資源管理－その他カレイ類

担当者 伊藤貴之、五十嵐敏

## I 新技術の解説

### 1 要旨

福島県においてメイタガレイとナガレメイタガレイは、さし網および底びき網で漁獲されるが、形態的によく似ており市場における取扱いや漁獲高統計において区別されていない。2000年から2010年の両種をあわせた漁獲量は35.1～91.1トン、漁獲金額は18.5～71.8百万円であった。メイタガレイ類の生態に関する知見は西日本におけるものが多く、東日本のものは少ない。

今回、福島県海域で採捕されたメイタガレイとナガレメイタガレイについて、両種の生態について整理するとともに比較検討を行った。

- (1) 2011年1月から2012年11月に、底びき網漁船、さし網漁船および調査船による底びき網調査により採捕されたメイタガレイとナガレメイタガレイについて精密測定を行い、分布、成長、成熟、食性等、両種の生態を比較した。
- (2) 両種とも福島県沖の北から南まで幅広く採捕された。採捕された水深はメイタガレイでは水深20～80m、ナガレメイタガレイでは40～120mであり、ナガレメイタガレイの方がやや深所に分布していた。(表1, 2)
- (3) メイタガレイでは全長、体重ともに2歳以降に雌雄で差が現れ始めメスの方が大型になった。ナガレメイタガレイではメスの方がやや大型になる傾向がみられたが差は有意ではなかった。また、両種を比較すると雌雄ともメイタガレイの方が成長が早く大型になった(図1)。また、年齢構成が大きく異なっており、メイタガレイは1～3歳を主体とした1～15歳、ナガレメイタガレイは1歳を主体とした0～5歳で構成されていた。(表3)
- (4) メイタガレイの産卵期は10月下旬から12月上旬であると推定された。ナガレメイタガレイはGSIの明確な変化はみられず本県沿岸において産卵を行っていないと考えられた。(図2, 3)
- (5) メイタガレイの主餌料はイソギンチャク類、多毛類、後鰓類であった。ナガレメイタガレイの主餌料は多毛類であり、両種の主餌料は異なっていた。

### 2 期待される効果

- (1) 成長・産卵期などの基本的な生物特性が明らかになったことで、今後の調査研究の基礎資料となる。

### 3 適用範囲

- (1) 研究者、行政関係者、漁業者

### 4 普及上の留意点

- (1) ナガレメイタガレイは来遊資源であると推察され、近隣県における知見収集が必要である。

## II 具体的データ等

表1 緯度水深別メイトガレイ採捕尾数

緯度	水深(m)					計
	20-39	40-59	60-79	80-99	100-119	
37.8-38.0	23	3				26
37.6-37.8	20	4	16	1	1	42
37.4-37.6	10	3	12			25
37.2-37.4		48	9			57
37.0-37.2		25	15	1		41
36.8-37.0		12	2	2		16
計	53	95	54	4	1	207

表2 緯度水深別ナガレメイトガレイ採捕尾数

緯度	水深(m)					計
	20-39	40-59	60-79	80-99	100-119	
37.8-38.0	1	13	1	6		21
37.6-37.8	3	2	124	209	142	480
37.4-37.6			3	16	2	21
37.2-37.4		158	4			162
37.0-37.2	8	143	10	4		165
36.8-37.0		14	7			21
計	12	330	149	235	144	870

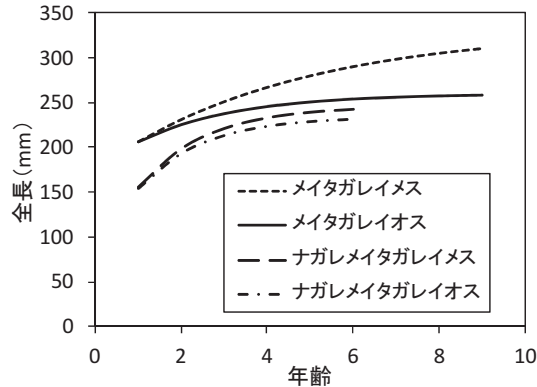


図1 メイトガレイ、ナガレメイトガレイの成長式(全長)

表3 年齢別採捕尾数(左:メイトガレイ、右:ナガレメイトガレイ)

年齢	メイトガレイ		ナガレメイトガレイ		
	オス	メス	オス	メス	
0	0	0	0	61	48
1	24	19	1	248	298
2	27	36	2	58	90
3	22	28	3	9	11
4	13	15	4	0	0
5	10	3	5	2	0
6	2	2			
7	2	1			
9	1	0			
12	1	0			
15	0	1			

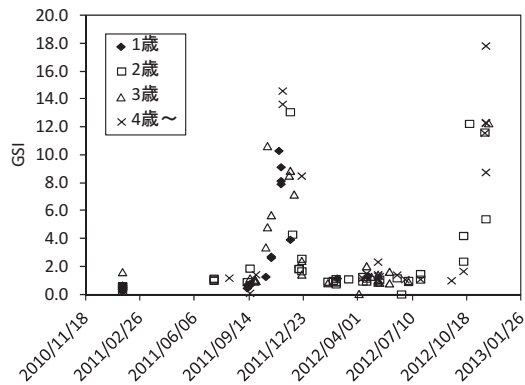


図2 メイトガレイメスのGSIの変化

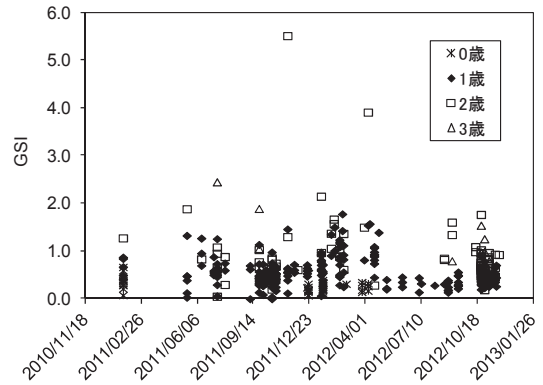


図3 ナガレメイトガレイメスのGSIの変化

## III その他

### 1 執筆者

伊藤貴之

### 2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23、24年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発(沿岸性カレイ類)

### 3 主な参考文献・資料

Suzuki, Kawashima and Nakabo : Taxonomic review of East Asian *Pleuronichthys* (Pleuronectiformes: Pleuronectidae), with description of a new species, Ichthyol Res 56、276-291 (2009).

### 4 その他

東北底魚研究連絡会議発表予定